

一般公開シンポジウム(入場無料)

# 「東北地方の将来人口」

2013年3月に発表された国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」によると、東北地方の人口は2040年までに約3割の減少を示し、65歳以上の人口の比率もほぼ4割に達するとされている。我々はこの推計をどのように受け止めるのか、東日本大震災は、推計を上回る人口減少をもたらすのか、などの問題について、推計方法の説明を受けるとともに、地理学・人口学の立場から論じる。

- ・日時:2013年10月26日(土)10時~12時半
- ・場所:仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学8号館第3会議室

- ・主催:東北地理学会, 日本人口学会
- ・コーディネーター:阿部隆(日本女子大), 司会:磯田弦(東北大)

## < 報告内容 >

- ・飯坂正弘(中央農業総合研究センター)

「仮設住宅生活における問題点と被災自治体の将来人口」

- ・小池司朗(国立社会保障・人口問題研究所)

『日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)』の概要  
—(1)—人口推計の枠組みと手法について

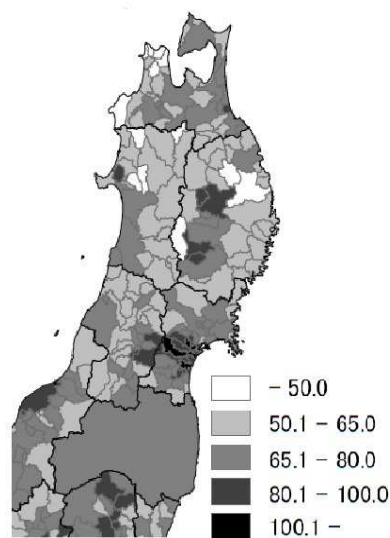
- ・山内昌和(国立社会保障・人口問題研究所)

『日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)』の概要  
—(2) 東北地方を中心とする結果について

- ・山口泰史(フィデア総合研究所)

「国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来人口推計

結果に対する考え方—東日本大震災を踏まえて—」



国立社会保障・人口問題研究所:  
2040年の総人口の指数(2010年=100)

\* 午後1時半からは、  
日本人口学会東日本  
地域部会の一般発表  
が行われます。そちら  
にも参加ください。

- ・丸山洋平(慶応大):「孤立の高齢者世帯の地域分布」
- ・清水昌人(国立社会保障・人口問題研究所):「大都市圏居住者のライフステージ別居住地」
- ・鈴木透(国立社会保障・人口問題研究所):「人口高齢化の線形モデル」
- ・小島宏(早稲田大):「ムスリム人口に対する意識の関連要因—日欧の比較分析」